

竹内浩三

愚の旗

通信

竹内浩三 愚の旗通信

発行/『愚の旗』復刻制作委員会

制作/(有)伊勢文化舎

発行日/平成31年1月11日



完成した『愚の旗』復刻版(平成30年12月15日)

竹内浩三の生地OKの魅力知る
『愚の旗』が復刻!

詩人・竹内浩三が広く世に知られる礎となった、私家版『愚の旗―竹内浩三作品集―』。

浩三の創作の息吹に触れる一冊が、このたび復刻された。その編集や装丁からは、姉・松島こうと

親友・中井利亮の浩三への思いをうかがい知ることが出来る。

激動の戦時下に伊勢に生まれ、「骨のうたう」など数々の詩を遺し、わずか二十三歳でこの世を去った竹内浩三。その戦死から十年が経った昭和三十一年、姉のこうが浩三の学友・中井利亮に依頼して編んだ私家版作品集が『愚の旗』だ。十七編の詩をはじめ、短編小説、マンガ、日記、姉宛ての手紙などを収録し、限定二百部を制作。没後徐々にその名を知られることになる浩三だが、「作品集」の体を採ったものとしては唯一で、最近では研究者も人手困難な『幻』の書籍とされていた。

その『愚の旗』が今回、地元印刷関係業者ら有志と出版社・伊勢文化舎によって復刻された。

二〇二二年の竹内浩三生誕一〇〇年を見据え、「原点ともいえる作品集の復刻を機にさらに人々の関心が高まれば」との思いだ。

詩はもちろんのこと、マンガや日記、姉宛の手紙の随所に、ユーモラスで実直、臆病にして何時もクールな、浩三のキャラクターがにじみ出ているのが興味深い。

復刻は、できる限り初版本に忠実に取り組まれた。造本調査で

竹内・中井の年譜、出来事、解説など二十ページを増補

復刻本では、初版本に二十ページを追加し、増補を行った。

竹内浩三とその作品をめぐる出来事一覧に加え、竹内・中井の対比年譜を収録。さらに解説文として、三重文学協会会長の藤田明さん、中日詩人会前会長の渡邊正也さんに、それぞれの立場で同書の価値と詩人・竹内浩三像についての見解をご寄稿いただいた。

特筆すべきは、藤田さんの解

『愚の旗』は、竹内浩三への理解を深める原典となりそうだ。



竹内浩三(右)と中井利亮

竹内浩三(たけうち・こうぞう)

1921年、宇治山田市(現伊勢市)生まれ。宇治山田中学から、40年、日本大学専門部映画科へ入学。在学中に同人誌「伊勢文学」を創刊。詩や短編小説、漫画を発表した。42年に繰り上げ卒業して入営。45年4月9日、フィリピンで戦死。戦後、遺稿集が刊行される。代表作に「骨のうたう」「日本がみえない」。

中井利亮(なかい・としすけ)

1921年、度会郡二見町(現伊勢市)生まれ。宇治山田中学から、42年、早稲田大文学部入学。竹内らと同人誌「伊勢文学」を創刊。海軍飛行予備学生として学徒出陣。56年、姉松島こうの依頼により『愚の旗』を編集。2002年81才で死去。著書に『ヤマトヒメラインを走る』2003年中井信子刊がある。



「一篇一篇の作品のタイトル、詩行の位置が全部同じではないんです。微妙に変えてありますので、慎重に原本と見比べながら組んでいきました」と伊藤さん。写真は活字棚から活字を拾っていく文選作業。(イトウ印刷)

復刻作業は、竹内浩三、編集者・中井利亮氏との「対話」でもありました。二人の思いを伝えたい——あえて難しい方法に挑戦しました。

『愚の旗』は竹内浩三唯一の著作であり、親友・中井利亮さんの編集センスと思いがこもった書籍です。私たち復刻制作委員会は、詩の頁の活版印刷と見返し紙の造作の再現を中心に、その思いを形にしようとして行錯誤を重ねました。

まだ健在の活版印刷所で「ガチャン、ガチャン」、小気味よい音をたてる年代物の活版機。傍ではイトウ印刷の主・伊藤敏治さん(59)が機械を時々止めては一枚一枚刷り上がりを確認していきます。

ここは伊勢市船江にある、県下でも数少ない活版印刷所です。

伊藤さんは大学を出てすぐ父親がつくった印刷所に入り、活版技術のイロハから学んだ筋金入りの職人。しかし近年は活版の需要が減り、とくに頁ものは長らく手掛けていなかったと言います。『愚の旗』を依頼したときも初めは躊躇されましたが、「詩の頁のみ」という条件で引き受けていただきました。

詩の頁は全部で54頁。それを見開きごとに、活字を拾う「文選」、文字を組み合わせ文章を整える「組版」を行い、ゲラ刷り(校正)を出します。校正後は直して校了し、印刷にかけます。「タイトルのみ赤色で二色刷り。編集者のこだわりを感じますね」と伊藤さん。また、「活版印刷ならではの文字の美しさや味わいをぜひ見てほしい」とも話してくれました。



年代物の活版機は現在も健在。刷り上がりを厳しい目でチェックする伊藤さん。



表紙の色合わせは製版技師の神部さんにも立ち会ってもらい、原本に近い色がでるまで試し刷りを行う。(北浜印刷)

活字の擦れもそのままに。スキヤン技師の腕の見せ所です。表紙の橙色を決めるにも、何回も色合わせを重ねました。

詩の頁以外は現在の主流であるオフセット印刷機で刷ります。短編や日記、手紙の頁は活字の綴数が小さく、所々擦れやゴミを取ります。経年による汚れやゴミを取り除く一方、二文字の擦れまでいかに原本に忠実に補整を施せるかが要です。

の明るい発色は染め紙かもしれない。スキヤン技師の勘と想像力を駆使し、進めていきました。

丁寧にスキヤンしたデータはアルミ板に焼かれ、印刷にかけられます。ここでも原本の活字の再現に細心の注意を払います。インクを盛り過ぎると文字が潰れ、活版の味が損なわれるからです。表紙の橙色の色合わせも、何回も試し刷りを重ねました。「原本



デジタル技術を駆使してスキヤンしたあとは、人の目で汚れやゴミを丁寧に取除いていく。(千巻印刷産業)

朝の禊湯で
お伊勢参りへ

鳥羽温泉郷
TOBA ONSEN-GO

鳥羽市温泉振興会
〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7
TEL0599-25-3019 FAX0599-25-6358
http://www.toba-onsen.com

パールシャワーで祝う
結婚30周年の記念日

真珠婚式
(毎月30日は真珠婚の日)

鳥羽の旅情報は鳥羽市観光協会
〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7
TEL0599-25-3019 FAX0599-25-6358
http://www.toba.gr.jp

真珠が生み出す神秘の世界

伊勢パールセンター

伊勢市二見町松下1742-8
TEL0596-43-4311 FAX0596-42-1655
営業日…月・金
時間…13:00~17:00

伊勢商工会議所は
中小企業者の経営をサポートします

経営のことならなんでも
ご相談ください!

伊勢商工会議所 中小企業相談所
伊勢市岩淵1-7-17
TEL0596-25-5155 FAX0596-23-1151



見返し紙に使った落水の技法—薄いベールのような楮(こうぞ)紙を漉き、濡れたままの状態を上から型紙をかざしてシャワーを強く掛けると、水の力に負けて紙に型通りの穴が空き、模様ができる。繊維の長さがぼかしのよう作用して、風合いゆたかな風情に仕上がった。(大豊和紙工業での作業風景)



伊勢型紙の彫り師・那須恵子さんが彫った見返し紙の型紙を漉き桁(すきけた)にとりつけたところ。

和紙の見返し紙に、編集者の感性を見出しました。しかし、どのようにしたら再現できるか、一カ月間悩みました。

調査段階から注目していたのが見返しです。見返しは表紙を開いた裏側(表・裏の紙で、表紙とともに書籍の格調が決まります。原本の見返しは網目模様の凹凸のある和紙で、松、竹、梅の透かし模様がおぼろげに見えます。これを最初私たちは、文様をデジタルスキャンし、箔押し機で和紙にエンボス加工を施せば再現できると考えていました。しかし試作の結果は、色味、質感ともにデジタルのくつきり感が強く、原本と

は印象を異にするものでした。時間だけが過ぎる中、和紙のことならば、伊勢神宮のお神札用紙を奉製する大豊和紙工業の中北喜得(61)代表とお会いすることになりました。見返しについて相談すると、「落水の技法で和紙に模様を作れば松竹梅の様子が再現できるかも」と、復刻に協力していただけることになったのです。

二つの伝統技法が結集

数日後、大豊和紙の工場にあつた「格子状の材料」を使い「落水」

の試作をしたところ、理想に限りなく近い結果を得られました。残る問題は、原本にある網目と松竹梅の透かしの「型」をどうするかです。メンバーの一人が伊勢型紙の彫師の女性(那須恵子さん)を知っており連絡すると、短期間にもかかわらず引き受けてくれました。

後日、美しく彫られた那須さんの型紙が届くのを待って、大豊和紙の手すき職人・中島鉄兵さん(43)の手で一枚ずつに落水模様が形成され、ようやく復刻版の見返し紙が完成しました。

①『愚の旗』復刻と伊勢を愛した詩人・竹内浩三展(報告) 平成30年12月15日(土)~28日(金)に開催しました。



『愚の旗』復刻制作委員会主催(共催/伊勢市立伊勢図書館・(有)伊勢文化舎)による展示を伊勢市立伊勢図書館(2階展示ホール)で開催しました。復刻のプロセスをパネル展示のほか、竹内浩三に関する書籍と資料の展示等を行いました。

② 詩の朗読会・講演・復刻報告会 第1回 詩の朗読会と講演 第2回 復刻報告会と講演



平成30年12月2日、伊勢市立伊勢図書館で開催しました。詩人の下社裕基氏の話と長野多恵さん(森の劇場プロジェクト代表)の朗読、詩人の渡邊正也氏の講演「竹内浩三の詩の中に入って行く」を行いました。



平成30年12月16日、サンライフ伊勢で開催しました。『愚の旗』復刻制作委員会による復刻報告会、詩人の下社裕基氏「竹内浩三の詩から学ぶ」、竹内浩三研究会代表 藤田 明氏「竹内浩三と中井利亮について」の講演を行いました。

糸かがり製本で美しい仕上げ

『愚の旗』の原本は特殊な手製本(上製本)で美しく仕上げられています。復刻版の製本は、上製本に定評のある岐阜市の製本所・小川守商店にお願いすることになりました。約三十工程以上ある上製本の作業のほとんどは手作業です。表紙まわりと本文を別工



「表紙の位置合わせが一番難しい」と小川守商店の小川さん。

程で進め、最後に本文に貼り込んだ見返し側の側全面をノリで表紙の裏側に貼り合わせ、表紙と本文を接合していきます。本の強度を保つため背固めなどの接着にはノリとボンドを最適に調合し、接着の強度と乾燥性を両立させています。仮固めした本文は、長く薄い寒冷紗、背張り紙などの補強材をニカワで施し仕上げられます。



小栗俊治さん(丸武)は三重県出身。今回は小川守商店さんの製本アドバイザー的な立場で参画された。

FUJIFILM Value from Innovation

「印刷のエコ」を支え続ける「大樹」、でありたい。

富士フイルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社
 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号
 富士フイルム名古屋ビル 052(201)8171
 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

FUJI XEROX

富士ゼロックス三重株式会社
 〒514-8578 三重県津市栄町1丁目817番地
 Tel: 059-228-7561 Fax: 059-228-4515
www.fujixerox.co.jp/mex/

「人に一番やさしい生命保険会社」をめざして

確かな安心を、いつまでも

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社 伊勢南営業所
 〒516-0074 三重県伊勢市本町5-9
 TEL (0596) 28-7916 FAX (0596) 27-1048

ご協賛ありがとうございました。(五十音順)

〈個人〉

杏 さだ子

池村 寛

岩瀬 よしのり

大西 金重

岡田 美代子

川口 祐二

桐山 五郎

竹内 喜美子

竹内 三輪

竹島 恭子

田中 伸一

土屋 誠

刀根 照美

西川 敏子

西山 嘉代子

松下 美智子

森本 博通

矢野 隆嗣

山川 芳洋

他十二名

〈企業・団体〉

(株)アイブレン

石川商工株

大阪印刷インキ中部販売株

割烹 大喜

関西紙業株

カンパニー

月兎舎

(株)光文堂

(株)小森コーポレーション

(株)酒徳昆布

(株)サン浦島

真宗大谷派 常照寺

(有)タスカル

旅人(絵画グループ)M.O

東京インキ株 名古屋支店

(有)二軒茶屋餅角屋本店 伊勢角屋麦酒

富士ゼロックス(三重)株

富士フィルム

グローバルグラフィックシステムズ(株)

NPO法人二見浦・寶日館の会

明治安田生命保険相互会社 伊勢南営業所

森の劇場プロジェクト・津

『愚の旗』復刻制作委員会

■委員長

千巻印刷産業(株) 代表取締役社長 塚本 誠

■副委員長

北浜印刷工業(有) 専務取締役 山中 武

関西紙業(株) 取締役社長 鈴木 琢也

イトウ印刷(有) 代表 伊藤 敏治

(有)ミカミプロセス 代表 神部 政郎

大豊和紙工業(株)

丸武製本紙工(岐阜市)

(有)小川守商店(岐阜市)

■事務局

(有)伊勢文化舎 代表 中村 賢一

■協力

伊勢市立図書館 竹内浩三の姉こう氏の長女

中井利亮氏長女(立正大学特任教授)

竹内浩三研究会 事務局長 奥村 薫

竹内浩三を読む会 代表 岡田 美代子

「きみはいくさに征ったけれど」上演委員会事務局

三重県印刷工業組合伊勢支部

詩人(南伊勢町在住) 今村 順一郎

元高田短期大学教授、竹内浩三研究会 代表 藤田 明

復刻版『愚の旗』
購入のご案内

郵便局に設置されている払込取扱票をご利用の上、住所・氏名・電話番号と、備考欄に書名(愚の旗)および冊数をご記入後、左記代金を郵便局よりお振り込みください。ご購入金確認後にお送りいたします。

【本代】 1冊 ¥8640(税込)

【送料】 1冊 ¥1000(税込)

口座番号 008201214239

加入者名 有限会社 伊勢文化舎

アマゾンでもお求めできます。

●お問い合わせ：伊勢文化舎

TEL 0596・23・5166
FAX 0596・23・5241

有限会社ミカミプロセス

Prepress Total Support
〒515-0507 伊勢市村松町明野1355-16
電話:0596-37-4666
FAX:0596-37-4675
Mail:mikami@mint.or.jp

北浜印刷工業有限会社

〒515-0507 伊勢市村松町明野1355-16
電話:0596-37-4648
FAX:0596-37-4647
Mail:kita8@aqua.ccn.ne.jp

地元密着 73年。

千巻印刷産業(株)

〒516-0072 三重県伊勢市宮後2-9-41
☎0596-26-0101代 FAX0596-23-0008

ちまき印刷 検索
http://www.chimaki.co.jp/

KOBUNDO



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂
代表取締役社長 讚岐 秀昭

本店/〒460-0022
名古屋市中区金山二丁目15番18号
TEL 052(331)4111(代)

http://www.kobundo.co.jp

印刷全般・広告・出版・ホームページ



(株)アイブレン

本社/伊勢市神久3-5-67
TEL(0596)27-1111
津営業所/津市八町1-9-16-1008
TEL(059)225-3885

KOMORI

株式会社 小森コーポレーション

色彩総合メーカー

TOKYO ink

http://www.tokyoink.co.jp



東京インキ株式会社 名古屋支店
TEL. 052-331-1515



出版・編集・制作

(有)伊勢文化舎

〒516-0008 伊勢市船江2丁目22-25
TEL 0596-23-5166
http://www.isebito.com



技術と品質で世界に躍進する

三星インキ株式会社

大阪府堺市西区浜寺船尾町東1丁目103番地
TEL 072-261-8161
FAX 072-264-1421

http://www.mitsuboshi-ink.co.jp/

紙の専門商社

関西紙業株式会社

津市桜橋3丁目53番5号
TEL 059-225-8146(代)
FAX 059-226-9929

扉を開けよう。



エヌ・ドット・ジー・ピー
n.jp

伝える喜び、これからも
新日本工業株式会社
TEL 0598-20-2880(代)

本社/ 松阪市広福町41-1 事業所/ 東京・大阪・三重・福岡
[URL] http://www.shin-nihon.co.jp